

# AMAGASAKI TO THE FUTURE II

アマガサキトゥザフューチャー2 PART II



## きいてカード

尼崎でくらす人たちのおなやみや相談ごとのカード

12 子ども・子育て支援

**ジャンル**  
尼崎市の「総合計画」に書かれている課題のテーマです。

**セリフ**  
くらしの中で感じている「心の声」がセリフになっています。

**プロフィール**  
カードのセリフを話している人の年れいや家族が書かれています。

最近友達と  
うまくいってない。  
誰かに相談したいん  
だけどなあ。

中学2年生 (14歳)・女子



## おたからカード

尼崎にあるものや場所、人やイベントなどのカード

14

**ポイント** ①  
カードの使いやすさにあわせて1点から3点までついています。

**タイトル**  
尼崎にあるものばかり。どんなカードも使い方によって、おたからにすることができます。

**イラスト**  
イラストはあくまでもイメージです。

**解説**  
カードの内容についての説明文。よく読むことで、びっくりするような使い方がひらめきます。

尼のおかん

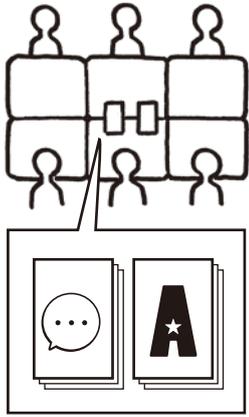
元気でよくしゃべりよく笑います。  
友だちが多くておトクなことが大好き。  
そう、あなたがイメージする彼女のことです。

尼崎で暮らす人からの「きいて」というおなやみに、まちのお宝を  
組み合わせて「おせっかい」するカードゲーム (ATTF2) です。

プレイ人数=3~6人 所要時間=30分

つかうカード=きいてカード 50枚 おたからカード 90枚

## ① カードをくばる

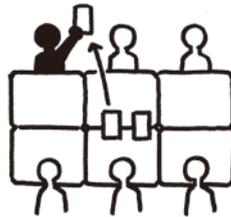


- ・「きいてカード」は山札に。
- ・「おたからカード」を各プレイヤー 7 枚くばり、残りは山札に。



❗ しっかりと「おたからカード」をよんでおこう

## ② 「きいて」をよむ



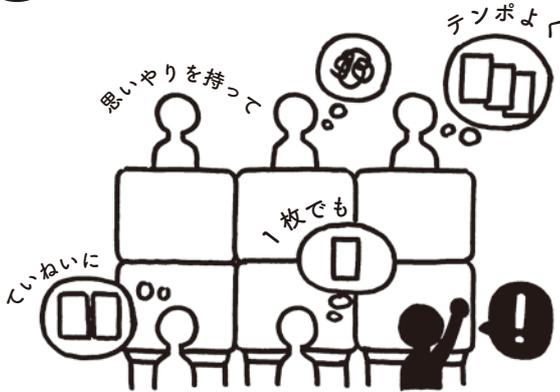
- ・じゃんけんて勝った人から「親」となってゲームスタート。

- ・親は「きいてカード」を1枚めくり、その人になりきってセリフをよみ上げます。プロフィールも紹介しましょう。



❗ こまっている理由をよく考えてみよう

## ③ おせっかいする



- ・親以外のプレイヤーは、手札をくみあわせて「親のおこまりごとを解決するストーリー（おせっかい）」を考えます。使える手札は最大3枚。
- ・カードを出すのは先着順。おせっかいが整った人からどうぞ。

❗ カードは時の運！正解はないのでテンポよく

## ④ ベストをえらぶ

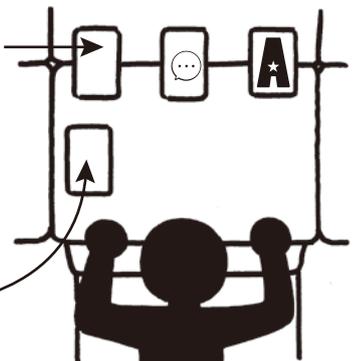


- ・親は全員のおせっかいを聞いて、一番よかった、うれしかったなどの基準で“ベストおせっかい”を選び、選んだ理由をなします。

使った「おたからカード」は場に流して、同じ枚数を山札から引いてください。手札は常に7枚に。

注意！

“ベストおせっかい”に選ばれた組み合わせは、出したプレイヤーの手元に並べておきます。



❗ ベストを選んだ理由をしっかりとほなそう

親を時計回りで交代しながら②から④をくりかえします。

## ⑤ ゲーム終了

- ・2周したら（または制限時間で）ゲーム終了。ベストおせっかいに選ばれた回数の多いプレイヤーが優勝です。
- ・回数が同じときは、「おたからカード」左上のポイントの合計が多いプレイヤーの勝ちです。

❗ ゲームがおわったら自分たちができそうなことを考えてみよう

このカードゲームは尼崎市シチズンシップ向上プログラムとして、公民館や地元の学校の先生たちの協力で作られました。

上記以外にもいろいろな使い方ができるカードゲームです。

お問い合わせは尼崎市役所ひと咲き施策推進課 〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号 TEL 06-6375-5639（尼崎市コールセンター）担当課へおつなぎします。